

5. 2050年のライフスタイル提案

パパ

ITベンチャー勤務
+
その他副業



小倉

- メインの仕事はITベンチャーのプロジェクトコーディネーター。他にも複数の仕事をかけ持ちしている。
- 仕事はテレワークで、ワークスペースが充実し、気持ちよく仕事ができる小倉にすることが多い。自宅のある黒崎からも15分で着くので。
- 天気の良い日は、気分転換も兼ね、屋外のオープンスペースで、お気に入りのワゴンショップのコーヒーを愉しみながら仕事。
- クライアントや同僚との打合せには、シェアオフィスを借りて参加。
- 月に1日程度、北九州空港から飛行機で東京に出向く。空港は近いし、早朝や深夜の便もあり便利。
- 今夜は路地裏のいつものダイニングで、大事な取引先との折衝。温めてきたアイアアをぶつけるつもりだ。

黒崎

- 駅前のマンションに住んでいる。3階にはメディカルセンターが入っていて、就寝時のデータから普段の体調を管理してくれる。1階のカフェレストランもセンターと提携していて、オーガニック食材が売りだ。
- 周辺には、个性的でおしゃれな店が多い。帰りが遅い日は、軽く一杯寄ることもしばしば。マスターの話はいつも興味深く聞かない。

ママ

フラワーショップ経営



小倉

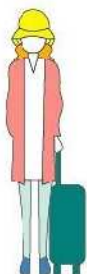
- 今日は、SNSで繋がる海外の友人が、初めて北九州市にやってくる。
- 小倉駅前に広がるシンボリックな広場で待ち合わせ。せっかくだから、小倉の街並みをしっかり印象づけたい。
- 合流後、まず、おしゃれなショップが並ぶメインストリートのオープンカフェでお茶する予定。行けば掘り出しものが見つかる、裏通りの雑貨店にも連れていきたいな。
- リアルで会うのは初めてだけど、これで関係が深まればいいなと思う。そうしたら、今度は私が訪れようかな。

黒崎

- 平日は、朝から商店街のフラワーショップに徒歩で出勤し、夫は小倉でテレワーク。息子は放課後、シェアハウスに住む大学生に勉強を教えてもらう。
- ショップでの仕事を昼過ぎに終え、その後、商店街のおしゃれなカフェバーで、来月に予定しているチャレンジマーケットについて、出店者の女性たちと打ち合わせ。

ママの
友人

海外在住



小倉

- SNSで繋がる日本の友人に誘われ、初めて北九州市にやってきた。
- 待ち合わせの時間まで、1人で小倉のまちを少し観光してみる。移動は自動運転のループバスがあり便利。
- 小倉はストリートがきれいで広く、沿道にはおしゃれなカフェやショップも多い。
- 特に気に入ったのは、路地裏の雑多な空間。皆がわいわい話をしていて、リアルな出会いができる場が心地いいんだと思った。
- 「きれいな街並み」と「界索性」という2つの顔を持つ小倉は、とても魅力的なまちだ。



黒崎

- 来日初日は、日本の友人のマンションに泊めてもらう。
- 彼女は、フラワーショップの経営のほか、地域のまちづくりにも関わっている。とても忙しくしているけど、いつもニコニコ元気。
- 「元気の源は美味しい食事」だそう。近くで調達した食材で、いつも楽しく料理しているそうだ。私も和食のご馳走を美味しくいただいた。

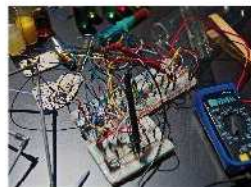
Kさん一家とお友達の「小倉・黒崎・東田」将来ライフ

- 休日は、息子と駅前の緑豊かな広場に散歩に出かける。息子がゲームに興じている間、読書をしながら、生演奏を聴いたり、行き交う人の様子を眺めたりして、疲れをリフレッシュ。



東田

- 平日のある日、進行中のプロジェクトのシステムについて、実証実験を行うため、東田の実証サポートセンターでワンストップ手続き。
- 東田は、実証フィールドが充実している。まち全体がショーケースのようで、来街者にも直接体感してもらえるのが魅力。
- ビジネスマッチングや関係機関との調整等、ワンストップでの支援も充実している。
- 周辺には理工系大学も多く、関係者と話をする中で、日々、次の事業展開についてアイデアが生まれてくる。



- 普段の買い物は、商店街のお店でほぼ完結。カットした野菜や、切り売りしたお肉・お魚が売られていて、手早くおいしい料理ができる。忙しい私にとってはとても助かる。
- 息子が小さい時は、近所の託児サービスを利用していた。顔見知りの元氣なシニアの方が優しく遊んでくれ、熱を出したら商店街3階のクリニックへ連れていってくれていた。小さな子どもがいても安心して働ける環境がありがたい。

東田

- とある土曜日、夫と私の休みが合ったので、無人タクシーを使って家族で東田へ。私はアウトレットモールでお買物。その間、夫と息子は博物館へ。ジュラシックパークさながらの恐竜だらけの世界を、VRで体験してくるそうだ。
- ショッピングを終えた私は、大量の戦利品を宅配ロボットに預け、駅前で二人と合流。
- ミュージアムをいくつか巡った後、駅前の大きな芝生広場で休憩。私たち夫婦はおしゃれなキッチンカーで売っていたベルギービールをゲット。
- 広場のあちこちで、ミュージシャンや大道芸人など、アーティストが思い思いに自己表現している。夕方からはライトアップアートが広場に彩りを加え、とても幻想的な空間になる。

- ふれあい通りにあるオープンカフェが、SNSを通じ海外で有名になっていることを彼女に教えてあげたら、テラス席で一緒にモーニングすることになった。彼女もそんなことになってるって知らなかったみたい。



東田

- 二日目は東田を観光する。このまちは観光するのにとても便利だし、楽しいコンテンツが揃っている。
- 駅に降り立つと、自動ナビのパーソナルモビリティを借りて、海辺まで地区内をぐるっと散策。
- 夜は、空飛ぶタクシーの皿倉夜景観光を予約しているけど、少し時間があるので、芝生広場で軽くお酒を楽しみながら過ごす。
- 目の前に現れたホログラムに、宇宙エレベーターの疑似体験や、門司港レトロ観光の案内が映し出される。
- 明日は門司港に行こうと思いつき、ヒューマノイドロボットがいるツアーデスクで、見所を確認。訪れるスポットからモビリティまで私好みにコーディネートしてくれた。もちろん決済も一括完了。

6. おわりに

2050年には、ゼロカーボン・DX等により明るい未来が待っている

社会課題への対応

- 少子高齢化・人口減少の進展、地球温暖化等の気候変動に起因する豪雨・河川氾濫・土砂災害等激甚災害の頻発など、我々を取り巻く環境は劇的に変化しています。「我々の将来は果たして大丈夫だろうか」と時に不安を抱くことがあります。
- そのような中、AI・IoT・高速通信・クラウド・ビッグデータ等、デジタルテクノロジーの目覚ましい進展(DX)は、これらの社会課題を解決へと導いてくれます。
- 少子高齢化・人口減少が進む一方、平均寿命・健康寿命がともに延びて人生100年時代を迎える中、テレワークや複業といった働き方を志向する意識の変容に加え、DXやロボットの進化等を背景に、誰もが元気にはたらき活躍できる社会になります。また、DXは、若い世代をはじめとして、個人レベルでチャレンジ・飛躍する機会の拡大をもたらします。出産や育児により30代を中心に女性の就業率が下がる、いわゆる「M字カーブ」は大幅に解消され、高齢者や生産年齢人口といった概念は、過去のものとなるでしょう。
- 近年、1000年に1回以上といわれるような激甚災害が各地で頻発していますが、ハード整備だけで対応することは困難です。DXにより、AIやIoT、高速通信網等の整備が進めば、確度の高い情報が素早く手元に飛んでくるようになります。ハード面でも、災害時に避難場所となる広場等の施設がしっかりと整備されていれば、そこまで適切に避難誘導してくれるでしょう。また、まちなかで火災や事故が起こった場合には、AIやIoTにより自動車等の交通を制御するとともに、地上や上空からの確に消火活動や救助活動を行うこととなるでしょう。

快適で豊かな暮らしの実現

- DXは、社会課題の解決だけでなく、私たちに、今以上に快適で豊かな暮らしをもたらしてくれます。
- 例えば、都市内の交通や物流は、地上や地下を走る電車や車等が自動運転となるだけでなく、空飛ぶクルマで空中をも利用するようになります。自動運転化により人手不足が解消されます。自家用車を所有しなくなれば、通勤や送迎での自家用車の運転から解放され、車の所有コストも低減されます。MaaSの下、あらゆる交通モードが連結すれば、乗り継ぎや待ち合いの時間が短縮されます。コストや時間が浮くので、それを自分の仕事、趣味、感動体験等に注ぐことができ、人はさらに豊かになっていきます。余剰となった車道や駐車場も、歩行者空間や広場へ転換されます。このように、あらゆる面で私たちに快適さと豊かさをもたらすことになるでしょう。
- 生活面に目を向けても、例えば、家事は趣味の世界となるかもしれません。働き方への意識改革や労働力のシェアと相まって、DXにより、子育て・育児の負担も軽減され、子どもへより愛情を注げます。私達は、煩わしさや障壁から解放され、暮らしの中に新たな価値を見出すようになるでしょう。
- AI、IoT等により、あらゆるモノやコトの最適化が図られ、経済のシェアリングが進展していくでしょう。そうなれば、無駄がなくなり、競争が抑えられ、軋轢もなくなっていくます。ストレスも軽くなります。また、シェアリングにより、固有のモノの境が曖昧となるボーダーレス化が進み、多様性を認め合う寛容な社会へとつながっていくでしょう。
- このように、都市の様々なシーンにおいて最適化が図られ、未使用等の余剰がカットされれば、資源が最大効率化されます。地球環境への負荷が抑えられ、都市全体がクリーンとなることで、人々は健康となり、暮らしはさらに快適になるでしょう。北九州市や政府が目指す2050年ゼロカーボンという目標に沿ったまちづくりが進みます。
- これらの都市の未来像は、まさに北九州市が目指すSDGsの理念に沿ったものでもあります。
- ゼロカーボンやSDGsは、これからの時代、北九州市や民間事業者等にとって、コストではなく、差別化できる強みとなります。北九州市は、日本のトップランナーを目指して、まちづくりにおいても、これらの理念に沿った取組を進めていきます。

将来構想「2050まちづくりビジョン」の実現に向けて

- 本構想では、小倉・黒崎・東田の3地区において、概ね30年先の2050年に北九州市が目指すまちの姿をとりまとめました。今後、この将来像についてまちづくりに関わる方々と広く共有を図り、まちへ投資したくなる、まちで消費したくなる、多くのファンがいる「選ばれるまち」となっていく必要があります。
- そのためには、足元の取組から1つずつ、着実に歩みを進めていかなければなりません。
- そこで、まず、当面5年程度の期間における取組について、別途「実施計画」を策定し、スタートダッシュをかけます。実施計画は、社会情勢やニーズを的確に捉えながらタイムリーに見直し、不断に取り組んでいきます。
- 実施計画では、限りある財源を重点的に投資する観点から、行政と民間が連携したまちづくりを強力に推進していきます。双方の特性や強みを生かし、効果的に最大のインパクトを生み出せるよう取り組みます。
- そのため、経済活動等のニーズを的確に捉えるとともに、ターゲットプレイヤーを見定めます。プレイヤーのパフォーマンスを最大効率化できるよう、ニーズに適応したまちづくりを進めます。チャレンジするまちのプレイヤーに対して、その取組を積極的に応援します。
- 小倉・黒崎・東田のそれぞれのまちが、多くのファンを抱える「選ばれるまち」となるため、2050年の将来像実現のため、一緒に力を合わせて頑張っていきましょう。

小倉・黒崎・東田 将来構想
「2050まちづくりビジョン」(たたき台)

発行日：令和3年7月

発行者：北九州市 建築都市局 都市再生企画課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

電話 093-582-2502/FAX 093-561-7525

E-MAIL toshi-saiseikikaku@city.kitakyushu.lg.jp